

北陸地方整備局 松本砂防事務所
記者発表

発表日時
平成19年4月26日 配布をもって解禁

「アルプス公園中継所(山と自然博物館内)」の紹介①。

～遠くからでも見えるあの塔は何だか分かりますか？～

いよいよ5月3日(木)にアルプス公園内にて新しいアルプス山岳館「山と自然博物館」がオープンします。この「山と自然博物館」には、松本砂防事務所の「アルプス公園中継所」という防災無線施設と、一般の方々に「砂防」について触れていただくための砂防展示コーナーがあります。今回はその防災無線施設について紹介します。

松本市の周りには、西は日本アルプスの3000m級の山々、東は、東山と呼ばれる2000m級の山々に代表されるように、隣の市町村と天気が違うほど山々に囲まれています。

アルプス公園中継所は、それらの山々によって無線が遮断されないように情報中継施設として設営されました。普段は、光ファイバーで現地の情報を松本砂防事務所に受け入れ、光ファイバーが災害等で切断された場合は、無線システムに切り替わり、遠くからでも見えるアルプス公園内の塔で無線を中継し、途切れることなく絶えず現地の情報を入手して関係市町村や情報提供設備(道の駅など)に流すことができます。

アルプス公園中継所は、情報を集約して松本砂防事務所と砂防の現場を繋ぐ重要な中継所です。アルプス公園中継所の今後の役割に期待してください。

上記は、現在の山と自然博物館の写真です。

詳しい内容は別紙を参照してください。



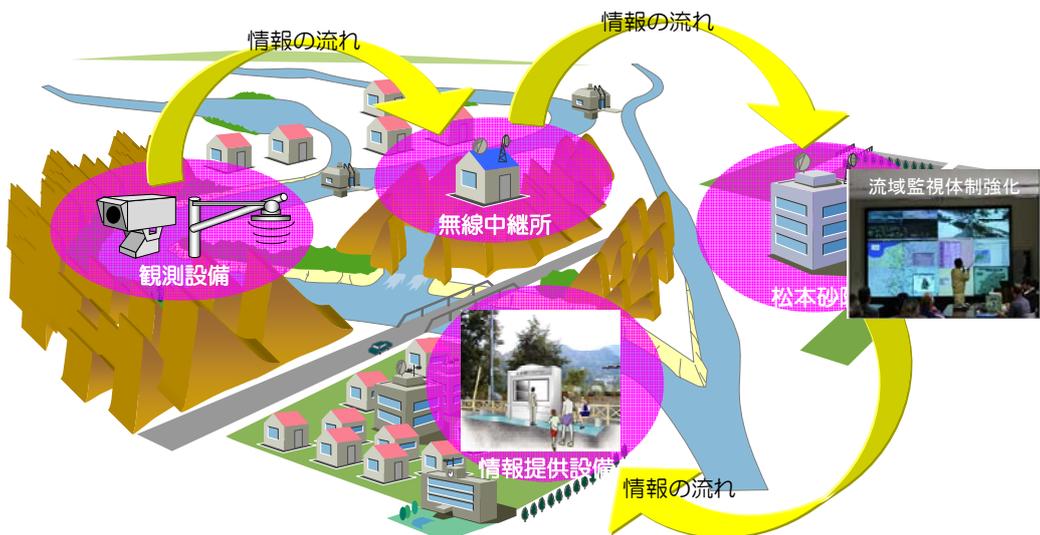
アルプス公園中継所
(山と自然博物館)



道の駅に情報を提供している様子。(「道の駅小谷」)

災害に強い通信網——アルプス公園中継所——

アルプス公園中継所は、過去に歴史的災害が発生した姫川流域・高瀬川流域・梓川流域の各観測所からの観測情報を松本砂防事務所へ伝送することを目的としています。



各種センサーの設置



上高地インフォメーションセンター



松本市役所への画像提供

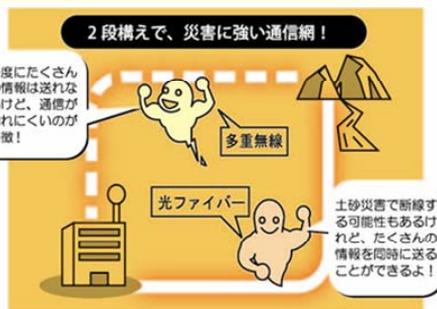


道の駅へ情報提供

●管内の情報通信は、より大容量伝送が可能な光ファイバーを併設

観測設備と情報提供

砂防情報システムの情報源である観測設備は主にカメラ、センサ（雨量、水位、風速、積雪、土石流）を設置しています。また流域市町村、保全対象住民、観光客に対しリアルタイムな情報を情報提供表示板や携帯電話配信等を行っています。



問い合わせ先：

国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所 技術副所長
0263-33-1115 (代表)